

テーマ：7月上中旬貿易統計
～改善はいったん足踏み？～

発表日：2011年8月5日（金）

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主席エコノミスト 新家 義貴
TEL：03-5221-4528

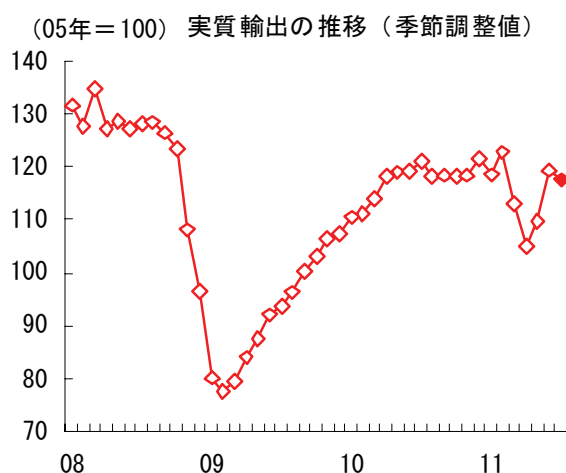
本日、財務省から2011年7月上中旬の貿易統計が発表された。これによると、輸出金額は前年比▲3.4%となり、6月月間の同▲1.6%から減少幅が拡大した。旬別に見ると、上旬が前年比▲11.1%、中旬が同+5.9%となっているが、これは、前年と比べて平日日数が上旬は1日少なく、中旬は1日多いことが影響しているとみられる¹。

7月月間の伸び率が上中旬と同じ（▲3.4%）になったと仮定して試算すると、7月の実質輸出（日本銀行試算ベース）²は季節調整済み前月比で▲1.5%になる。7月は下旬の平日日数が昨年よりも1日少ないことを考えると、減少幅がさらに拡大する可能性も否定できないだろう。

実質輸出は3月（前月比▲8.0%）、4月（同▲7.0%）に震災の影響で急激に減少した後、5月（同+4.6%）、6月（同+8.6%）には2ヶ月連続で大幅に増加していたが、今日公表された上中旬の結果からは、7月は改善がいったん足踏みした可能性が高いことが示唆されている。

旬別の輸出は振れが激しいことに加え、振れが大きい船舶の輸出が上中旬に大幅に落ち込んだ影響もあったとみられるため、7月の輸出が悪化したと即断することはできないだろう。また、5、6月の改善ペースが非常に速かったことの反動もあるのかもしれない。だが、輸出の先行きを占う上で懸念される結果であることは間違いないだろう。

なお、7月月間の伸び率が上中旬と同じと仮定して計算すると、7月の輸出金額は季節調整済み前月比で+2.2%、輸入金額は同+1.7%となり、貿易収支は2721億円の赤字となる。貿易収支が季節調整値で黒字に転化するにはもう少し時間がかかりそうだ。



（注）2011年7月の値は上中旬の値から計算した試算値
（出所）日本銀行「実質輸出入」、財務省「貿易統計」より作成

¹ 上中旬の平日日数は前年と変わらない。ちなみに下旬の平日日数は昨年と比べて1日少ない。

² 輸出入物価は未公表のため、筆者による予測値を用いた。